

Google検索・AI Overview経由アクセスにおける閲覧傾向分析

Analysis of Browsing Trends in Google Search and AI Overview Referral Access

概要 (Abstract)

本レポートのデータはWebPita.comの機能を利用して観測をしている。本レポートでは、Google検索画面およびGoogle AI Overview画面からのアクセスについて、Webアクセスログを用いた閲覧傾向の観測を行った。

観測では、Google referer を持つアクセスのうち、HTTP 200ステータスかつhtml / php / pdf / ディレクトリアccessを対象とし、画像・CSS・JavaScript・リダイレクト・エラーアクセス等を除外した。また、User-Agent判定、アクセス挙動判定、およびISP判定を組み合わせることで、「実コンテンツ閲覧に近いアクセス」の抽出を試みた。

観測の結果、Google referer を持つアクセスのうち、「人間らしいアクセス」と推測される割合は約40%~60%程度で推移した。一方で、Google referer を持つアクセスの中には、自動巡回やBot的特徴を持つアクセスも多数含まれていることが確認された。

また、PDF・技術情報を掲載する情報提供型サイトと、写真閲覧主体サイトでは、人間率に差異が確認され、コンテンツ特性がアクセス傾向へ影響している可能性が示された。本観測は、「人間による操作」を完全に証明するものではなく、Webアクセスログを用いた閲覧傾向の観測結果として整理している。

第1章 本レポートの目的

本レポートでは、Google検索画面およびGoogle AI Overview画面からのアクセスについて、Webアクセスログを用いた閲覧傾向の観測を行った。観測では、Google referer を持つアクセスを対象として、「実コンテンツ閲覧に近いアクセス」がどの程度存在するかについて分析を実施している。また、Google referer を持つアクセスの中に、自動巡回やBot的な特徴を持つアクセスがどの程度含まれているかについても観測を行った。

第2章 観測対象アクセス

項目	内容
----	----

対象接続ログ	HTTP 200ステータスで、拡張子が html / php / pdf のファイル、およびディレクトリアクセスを対象とする。 ※リダイレクト・エラー・画像・CSS・JavaScript等の取得を除外し、実コンテンツ閲覧に近いアクセスを観測対象とした。
対象のGoogle referer	https://gemini.google.com/ https://bard.google.com/ https://www.google.com/ https://www.google.co.jp/ android-app://com.google.android.googlequicksearchbox/

第3章 人間らしいアクセスの判定

判定は、ユーザーエージェントおよびアクセス挙動による判定と、ISP判定の2段階で実施した。完全な「人間による操作」の判定は困難であるため、本観測では「Hosting / Datacenter系ISPからの接続を除外することで、Botアクセスの多くを除外できる」という仮説に基づき集計を行っている。

判定方法

判定分類	判定内容	条件
UAや挙動による判定	User-Agent チェック	文字列が極端に短い、botらしき文字列が含まれる、ブラウザ要素（mozilla/chrome等）やVersion要素が存在しない場合はNG。
	request_uri チェック	request_uri が空白の場合はNG。
	挙動チェック (1)	robots.txt / sitemap.xml にアクセスしたIPはNG。
	挙動チェック (2)	2秒以内に複数ページを閲覧しているIPはNG。
ISP判定	日本国内IP	主要レンタルサーバー接続であればNG判定とする。
	海外IP	AbuseIPDB の usage 情報を利用しISP判定を行う。

第4章 観測対象サイト

サイト	コンテンツ特性
-----	---------

Site A	業界情報・行政情報等を掲載する情報提供型サイト。HTMLおよびPDFによる技術情報・業界資料を掲載している。
Site B	土木写真を中心とした写真閲覧型サイト。約4000点の写真を掲載している。

第5章 観測結果

2026年5月5日～2026年5月13日の期間における観測結果は以下の通りである。

全体集計

site_id	Google referer全件	HTML/PHP/PDF (HTTP 200)	UA/挙動 NG	ISP NG	人間らしいアクセス	人間率
A	4,102	3,791	1,421	775	1,595	42.1%
B	5,535	2,416	433	663	1,320	54.6%

日付別推移（Site A）

日付	referer全件	対象件数	UA/挙動NG	ISP NG	人間らしい	人間率
2026/5/5	148	124	22	47	55	44.4%
2026/5/6	205	178	47	52	79	44.4%
2026/5/7	709	673	320	108	245	36.4%
2026/5/8	597	558	215	109	234	41.9%
2026/5/9	214	198	48	63	87	43.9%
2026/5/10	202	185	44	57	84	45.4%
2026/5/11	654	604	238	127	239	39.6%
2026/5/12	647	595	235	99	261	43.9%
2026/5/13	726	676	252	113	311	46.0%

日付別推移（Site B）

日付	referer全件	対象件数	UA/挙動NG	ISP NG	人間らしい	人間率
----	-----------	------	---------	--------	-------	-----

2026/5/5	671	272	32	93	147	54.0%
2026/5/6	520	207	15	55	137	66.2%
2026/5/7	702	317	69	78	170	53.6%
2026/5/8	650	301	76	76	149	49.5%
2026/5/9	545	230	31	63	136	59.1%
2026/5/10	551	211	19	59	133	63.0%
2026/5/11	613	281	63	74	144	51.2%
2026/5/12	642	318	76	81	161	50.6%
2026/5/13	641	279	52	84	143	51.3%

第6章 考察

本観測では、Google検索画面およびGoogle AI Overview画面からのアクセスであっても、その全てが「人間による閲覧」であるとは限らない傾向が確認された。

- robots.txt / sitemap.xml への巡回
- Hosting / Datacenter系ISPからの接続
- 不自然なUser-Agentや高頻度アクセス

等、自動巡回やBot的特徴を持つアクセスが多数含まれていた。また、観測対象サイトによって「人間らしいアクセス」の割合に差異が確認された。Site Aでは約40%台で推移し、UAや挙動による除外件数が多い傾向が見られた。一方、Site Bでは50%~60%台で推移し、比較的安定した閲覧傾向が確認された。

この差異には、PDF掲載、技術情報量、検索導線、ページ構成、コンテンツ特性等が影響している可能性が考えられる。そのため、Google検索・AI Overview経由アクセスの分析では、単純なアクセス数のみではなく、実コンテンツ閲覧条件、User-Agent、ISP、アクセス挙動等を組み合わせた分析が重要であると考えられる。

第7章 まとめ

本観測では、Google検索画面およびGoogle AI Overview画面からのアクセスについて、Webアクセスログを用いた閲覧傾向の分析を行った。その結果、Google referer を持つアクセスの中には、自動巡回やBot的特徴を持つアクセスが多数含まれていることが確認された。

また、サイト特性によって「人間らしいアクセス」の割合に差異が存在し、コンテンツ構成や掲載情報がアクセス傾向へ影響している可能性が確認された。AI時代のアクセス解析では、単純なアクセス数のみではなく、

User-Agent、ISP、アクセス挙動、実コンテンツ閲覧条件等を組み合わせた多面的なアクセス解析が重要になると考えられる。